

2007年3月23日

工事契約専門委員会での検討状況

○検討論点

【論点 1-1】 工事契約の収益認識の基本的な考え方

（どのような状況において、どのような収益認識方法が適しているか）

【論点 1-2】 工事進行基準を適用する「工事途上で収益の確実性があると認められるケース」とは

【論点 2】 工事契約の収益認識と概念 FW との関係

【論点 3】 損失が見込まれる工事契約の取扱い －工事損失引当金の計上について－

【論点 4】 工事進行基準の適用等に当たっての実務上の取扱い

- (1) 進捗度の測定方法
- (2) 工事原価の範囲
- (3) 工事契約の単位
- (4) 見積り変更の取扱い

【論点 5】 適用対象範囲

【派生論点】 外貨建て工事契約のケース

- (1) 収益・費用の換算
- (2) 進捗率、工事損失引当金の換算

第 122 回企業会計基準委員会（2/2 開催）にて報告済み